

ふれあい



JAみちのく村山「ふれあい」No.276 2018. 3. 10発行
編集・発行/みちのく村山農業協同組合 山形県村山市楯岡北町一丁目1番1号 TEL:0237-55-6311(代) FAX:0237-55-5825

JAみちのく村山ホームページ <http://www.mitnoku.or.jp> E-mail: info@mitnoku.or.jp
印刷・製本/街印刷文化堂



特集：冬でも“実りの季節”！
—努力が実を結ぶ、各種受賞・表彰—

 JAみちのく村山

こちらにもアクセス!!

ホームページ

Facebook



なつかしの伝統料理
しょってんレシビ

牛乳パックでお手軽に！ くぢら餅

材料	もち粉……………400g	しょう油……………100cc
(2本分)	うるち粉……………100g	クルミ……………適量
	砂糖……………500g	牛乳パック……………2本
	水……………650cc	

作り方

【牛乳パックの「型」】

- 2つの牛乳パックをタテ19センチの長さに切る。
- ①を重ねて二重の箱をつくり、穴をあける。
- 箱の中にラップを張り、生地を流し込む
(1~2カ所をクリップでとめるとラップを張りやすい)。



【くぢら餅】

- 砂糖と水を鍋で煮立て、砂糖が溶けたら火を止める。
- しょう油を入れ、かき混ぜて冷ます。
- もち粉とうるち粉を、袋に入れて振るなどしてよく混ぜておく。
- 冷めた②に③を加えてゴムベラで混ぜる(へらを持ち上げた時、三角形の形で垂れるくらいまで)。
- 冷暗所で3日間ねかせ、1日1回以上かき混ぜる。
- 生地を牛乳パックの型に入れ、机でトントンと上下させる(空気が抜ける)。
- 生地の上にクルミをちらす。
- 湯気が出るまで蒸し器を温めてから、⑦を強火で2時間蒸す。
- くしを刺し、火が通ったか確認する。粗熱が取れたらラップをはがし、全体にハケで砂糖水を塗り光沢を出す。
- 新しいラップで包み、形を整えてできあがり。

ひとこと

優しい甘さのくぢら餅。冷めたものを食べる人が多いですが、熱々のできたてでもおいしい、冷めたものをチンしてもOK。より柔らかいのがお好みなら、もち粉を増やしましょう。クルミ以外に、今回はカボチャの種も使ってみました。蒸しているとお湯が少なくなります。その場合は温度が下がらないように、水ではなく沸騰したお湯を加えて下さい。

※「しょってん」とは、山形県の方で「昔」という意味です。

家の光

4月号の主な内容

《特集》

ファーマーズマーケット

全国に広まるJAのファーマーズマーケット。中には、数十億円の売上を誇る場所もあります。注目されているのは、農園や調理施設も備えた「体験型」の施設。ファーマーズマーケットの機能と役割を考えます。

■西郷どんを癒した 鹿児島県の温泉

NHK大河ドラマ「西郷どん」で注目を集める西郷隆盛。大の温泉好きでも知られる西郷どんにちなみ、鹿児島県の多彩な温泉や観光名所を、霧島温泉郷を中心に紹介します。

■「農ライフ」のすすめ 暮らしに役立つ 大地の宝箱 薬用植物

育てて楽しいうえに、暮らしを豊かにしてくれる薬用植物。そのおススメの栽培法や、化粧水、入浴剤、お茶、虫よけなど、暮らしに役立つ使い方を紹介します。

■4月号は付録がふたつ!!

「第1別冊付録 まんがでおさらい 覚えておきたい畑仕事のきほん」
自己流の農作業は失敗のもと。土づくりから病害虫予防まで、野菜づくりに欠かせない基本の作業を解説します。漫画を交えて分かりやすく! 図解!

■「第2別冊付録」なぜ? どうして? 図解

JAグループの「創造的自己改革」の実現のために、JAについて理解を深めましょう。その理念や事業・活動の内容、自己改革の取り組みなどについて、多方面から解説します。

※内容は変更されることもあります。

ふれあい

もくじ

- すくすくふれあい家族
／理事会だより 2
- 種まく人々 3
- 特集
冬でも「実りの季節」！
ー努力が実を結び、
各種受賞・表彰ー 4
- ニューズ展望台 6
- あつまれ！ふれあい広場 11
- みちのくぼいす
／クロスワードパズル 12
- お知らせ掲示板 14
- しよこでんレシビ 16

地域農業を支える生産部会をご紹介します！

村山営農センター 村山さくらんぼ加温ハウス研究会

J Aみちのく村山管内では、4月に新年度のスタートを切る出荷物である「加温ハウスさくらんぼ」。その生産組織の会長である太田さんにインタビューです。



(写真は1月26日に行われた園地巡回の様子)



部会長
村山市稲下
おおた かずお
太田 一男 さん(61歳)

昨年12月から就任。「新会長として、皆のアドバイスと協力を頂きながらやっていきたい」と話します。他の品目も「広く浅く」作っており、さくらんぼが終わると次はトマトの作業が始まるそうです。

温ハウスさくらんぼは冬仕事に最も適した品種で、栽培のしやすさ、品質の高さ、出荷のしやすさ、などが最大の魅力です。これらを維持するために、組織の力を最大限に活用していきたいです。

◀ **組織のなりたち**は？
組織の歴史は少なくとも20年以上。最初は温度管理や花を咲かせるのも手探りで、生産者は県外に勉強に行ったりして、「いかに赤く大きな品質の果実を作るか」を考えながら切磋琢磨してきたと聞きます。すばらしい技術を持った先輩たちが頑張ってくれたおかげで、今やみちのく村山の加温ハウスさくらんぼは山形県でも有数の品質。研究会も組織として完璧にできあがっています。先人たちに比べれば、それを引き継ぐ私たちが楽な方だと思っています。

◀ **今後の意気込みと目標**は？
品質を保ちつつ増産し、会員を増やしたいです。さくらんぼは高所作業が難しいので、簡単に「するする」と勧められないのがもどかしいです。温ハウスさくらんぼは冬仕事に最も適した品種で、栽培のしやすさ、品質の高さ、出荷のしやすさ、などが最大の魅力です。これらを維持するために、組織の力を最大限に活用していきたいです。

◀ **活動内容**は？
1月から園地巡回を行います。生育状況や樹勢を会員同士でチェックし、検討会と栽培講習会を行い、出荷に向けて打ち合わせを開催します。また、今年はお荷最盛期の前に会員全員での市場研修を予定しています。出荷期間中の研修に役員以外の会員が参加するのは、生産組織では珍しいかも知れません。さくらんぼをパックに詰めるのは主に女性の役割なので、詰め方についての要望を聞くいい機会でもあります。

◀ **現在の課題**は？
ハウスの管理作業にはいくつかの課題があります。まず、今年のように寒い年は、燃料をなるべく節約して、ハウスの温度管理を確保する必要があります。また、加温ハウスの樹に負担がかかり、早く咲かせるので樹の低木が進みやすくなります。収穫作業が終わって水稲の作業などが始まると、ハウス管理には手が回らなくなりがちなのも難しいところですね。



すくすくふれあい家族

- 大石田町岩ヶ袋
- 早坂 智彦 さん (39歳)
- 弘子 さん (37歳)
- 咲希 さん (7歳)
- 優希 さん (3歳)
- 洋子 さん (祖母)

咲希さんは、風船を作るおもちゃ「ウーニーズ」に夢中。優希さんは、サンタにももらったベビーカーのおもちゃが気に入っています。それぞれ来春から小学2年生、保育園の年少組と進級も間近です。「おやつは、取り合いにならないよう2人分必要です」と話すのは「お母ちゃん」こと弘子さん。今日はおばあちゃん手作りのつるし雛の前で、3人で写真撮影です。畑仕事のお手伝いも一年中楽しんでいる咲希さんと優希さんは、大雪だつてなんのその。「大石田の雪をずっと好きでいてほしい」という「お父ちゃん」智彦さんの思いを受け、外で思い切り遊びます。みんなの温かい思いやりが、寒～い季節を乗り切る秘訣です！

理事会だより

第12回理事会が2月21日に開催。主な議案と内容は次のとおりです。

- 第1号 J A全国監査機構(期中監査Ⅲ)改善指示書について
 - 第2号 FinTech(フィンテック)企業等との連携及び協働に係る方針の決定について
 - 第3号 共済事業の共同実施に関する契約の再締結について
 - 第4号 出資口数の減口承認について
- ・ J Aみちのく村山豪雪対策本部の設置について
 - ・ 大石田地区「米低温倉庫」取得計画にかかる状況報告について
 - ・ 平成29年産の米集荷状況について
 - ・ 豪雪対策に伴う「融雪剤」の申込みについて
 - ・ 平成30年度企画旅行について
 - ・ 大口貸出金の報告について
 - ・ 畜産専用購買取引約定書の一部変更について
- 【報告事項】
- ・ 経過報告および行事予定について
 - ・ 主要勘定・安全性の指標について
 - ・ 内部監査(自主検査・業務全般、内部統制)報告について
 - ・ 第八次経営管理3カ年計画の骨子と平成30年度事業計画の策定について
 - ・ 地区別座談会の開催について
- 【その他】
- ・ 次期参議院議員選挙への取り組みについて

冬でも“実りの季節”!

— 努力が実を結ぶ、各種受賞・表彰 —



▲1月13日に東京都で行われた作文・図画コンクールの表彰式。井上さんも表彰台上に上りました(最前列左から4人目)

年度末は、これまでの努力が結実する時期。第42回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールでの文部科学大臣賞受賞をはじめ、当JA管内での受賞・表彰などの話題をお届けします。

第42回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール & 平成29年度JA共済山形県小・中学生書道コンクール

全国から出品された作文約5万4千点、図画約7万3千点の中から、尾花沢市立尾花沢小学校3年の井上花帆さんが、図画作品「うちのごはん」で文部科学大臣賞を受賞。また尾花沢市立鶴子小学校5年の秋保大地さんが山形県知事賞を受賞しました。平成29年度JA共済山形県小・中学生書道コンクールでも2名が銀賞を受賞しました(左ページもごらん下さい)。

**平成29年度
JA共済山形県小・中学生
書道コンクール受賞者
(いずれも半紙の部)**

- ◆銀賞/尾花沢市立宮沢小学校
4年 柴崎 羽琉さん
- ◆銀賞/大石田町立大石田北小学校
5年 鈴木菜奈葉さん

**第42回「ごはん・お米とわたし」
作文・図画コンクール受賞者**

- ◆文部科学大臣賞/
尾花沢市立尾花沢小学校 3年 井上 花帆さん
- ◆山形県知事賞/
尾花沢市立鶴子小学校 5年 秋保 大地さん
- ◆優秀賞/尾花沢市立尾花沢小学校 5年 富樫 太一さん
- ◆優秀賞/尾花沢市立尾花沢小学校 6年 三坂 琉音さん
- ◆優秀賞/尾花沢市立尾花沢小学校 5年 志村直太郎さん



▲秋保さんの作品「今年も豊作だ」



▲井上さんの作品「うちのごはん」



▶表彰状を受け取る高橋さん(右)

**酒米生産部会が
コンテスト受賞**

2月15日、山形市で第20回酒米の里づくりフォーラムが開かれました。この中で行われた「おいしいお酒になれ!優良酒米コンテスト」で、当JAの酒米生産部会が出羽の里の部で全農・山形賞を受賞しました。部会長の高橋史さん(尾花沢市)が表彰台上に立ちました。



▲受賞式に臨む秋保さん(2月18日、山形市で)



▲文部科学大臣賞受賞の井上さん



▶尾崎夫妻(右)に祝辞を述べる折原組合長(左)

◆(有)スカイファームおぎき

2月20日に天童市で開催。代表取締役の尾崎勝氏ご夫婦でステージに立ちました。JA役員や行政関係者、畜産関係者が祝辞を述べ、祝宴ではやまがた舞子の踊りなども披露されました。



▶花束を手にお孫さんたちと撮影

**W受賞!
祝賀式を開催**

本県農業の振興発展に尽くした農業者などに贈られる、大高根農場記念山形県農業賞。今年度、当JA管内では、高谷尚市前組合長(村山市)と(有)スカイファームおぎき(尾花沢市)がW受賞を果たしました。2月にそれぞれの受賞祝賀式が行われました。

◆高谷尚市前組合長

2月17日に天童市で開催。JA役員や行政関係者など大勢が出席しました。スライドを用いて、高谷前組合長のこれまでの歩みを振り返る催しも行われました。

研修・講習・座談会

1月からは始める米づくり

2月、尾花沢市と大石田町で、平成30年度の米づくりに向けた研修会などが開かれました。10日は尾花沢で、農事実行組合と米生産部会が合同で研修。(株)神明の筒井慎治営業本部長が講演しました。17・18日は大石田町で農事座談会が開催。JAや同町の職員が、経営所得安定対策や米政策について説明しました。18日は尾花沢でも稲作農家向けのフォーラムが開かれ、県農林水産部県産米ブランド推進課長の武田睦氏による講演が行われました。



▲筒井本部長の講演。「現在は用途に見合った米が求められている」と話しました(10日)



▲座談会。農家から「つや姫」「雪若丸」の生産者要件について質問が出ました(18日)



▲講演で「やり方は変わるが、引き続き米の生産調整が必要だ」と話す武田課長(18日)



▲種苗会社の講師による説明

新品種の特徴を学ぶ

2月22日、尾花沢地区のミニトマト研究会は栽培講習会を開きました。講師は種苗会社の担当者。同研究会は昨年より新品種「花鳥風月」を出荷しており、参加者はその栽培・管理方法の知識を深めました。



▲参加者は「ためになった」と話しました



▲寒河江さんによる講習

確かな剪定で、良質の果樹生産を

2月15日、村山営農センターりんご生産部は剪定講習会を開きました。講師は、優れた剪定技術を持つ小関晃さん。戸沢地区の青柳篤さんの園地で、部員18人が剪定のコツを学びました。また21日には、村山果樹研究会も同様の講習会を開催。大富果樹研究会の寒河江司さんが講師となりました。



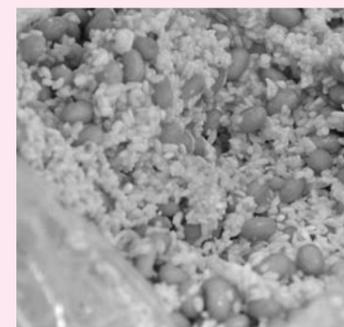
▲全体研修会に参加した畜産農家(22日)

肉用牛の「美味しさ」の秘密にせまる

2月22日、当JAの肉用牛部会は全体研修会を開きました。講習内容は「サシバ工対策の秘訣」「和牛肉の美味しさに関する研究状況」。畜産試験場の小松智彦博士が、肉質の分析により和牛肉の食味を「見える化」しようとする研究内容を発表。当JA枝肉共進会・研究会の肥育牛の分析結果を詳しく説明しました。また同部会は27日、山形市で「やまがたの和牛資質向上研修会」にも出席。第11回全国和牛能力共進会の、宮城県登米市の入賞事例などを学びました。



▲「やまがたの和牛資質向上研修会」の様子。登米和牛育種組合長の高橋良氏による講演(27日、山形市)



▲煮豆と米麴。これが味噌のもと



▲作業は3〜4人ひと組

みんなで楽しく！そうがミン!

2月2日、村山地区女性部の楯岡支部は、毎年恒例の味噌作り講習会を開きました。部員たちは講師に教わりながら、材料の煮豆・塩切り米麴・大豆の煮汁を機械で混ぜ合わせて、団子のように丸めて味噌樽へ詰めていきました。この日仕込んだ味噌は、約10カ月でおいしく仕上がります。



▲JA関連施設も訪問

当JA女性部は2月19・22日の四日間、「皇居勤労奉仕」として皇居と赤坂御用地での清掃活動などを行いました。村山・尾花沢・大石田地区から34人の部員が参加。ユニフォームもそろえて、早朝から夕方まで草取りや清掃をしました。宮内庁は昭和20年から、こうした奉仕を希望する有志を受け入れる活動を行っています。女性部員たちは、飯田橋の家の光会館や、大手町のJAビルの視察見学も行いました。

皇居でボランティア 充実の四日間

その他、2月の女性部活動はこちらから(11ページまで続きます)





▲安全祈願する生田四郎神主

工事は無事故で…。安全を祈願

2月5日、村山市の果実選果施設の「能力向上」工事にともなう安全祈願祭が開かれました。当JAの役員や生産者代表、行政・工事関係者が出席し神事が執り行われました。おとしの東部すいか選果施設の新設備導入に始まり、当JAでは選果施設の再編整備が進んでいます。今回の工事もその一環として実施されます。



▲雪景色をいろどるイルミネーションとキャンドルロード

幻想的な雰囲気を作り出したほか、イルミネーションによるアーケードや、彩色された人気キャラクターの雪像を設置。汁物のふるまいも行われました。



▲雪の中、オープンを待つ新店舗(13日)

お披露目も間近！グリーン店舗検査

3月にオープン予定の新・JAグリーンおばなざわ。翌月の開店を控えた2月13日、折原組合長とJA職員、工事関係者による完成検査が行われました。



▶検査中の折原組合長

職員やお客さんが利用する場面を想定しながら建物内を確認。新店舗は、3月26日(月)に開店します。



▲出席者が焼香。読経するのは浅草寺の僧侶

いよいよ作製「大わらじ」

2月11日、村山市楯岡荒町で、東京の浅草寺に奉納する大わらじの起工式が行われました。この大わらじ作りは昭和39年からほぼ10年ごとに行われており、今回で8度目。同市出身の元衆議院議員が奉納したのが始まりです。2月中に重さ約500キロの大わらじを二つ完成させ、10月に奉納します。



〈葉山支店〉

チョコレート♡



〈楯岡支店〉

くぢら餅!



〈大石田支店〉

みそ田楽!



〈尾花沢支店〉

豚汁!

あふれる謝意でももてなし お客様感謝デー

2月15日は当JAの「お客様感謝デー」。四支店で、菓子や料理を用意してお客さんをおもてなしました。楯岡支店はくぢら餅とジューズなどを、葉山支店はチョコレートをしゼント。尾花沢支店は豚汁、大石田支店はこんにやく田楽をふるまいました。各支店で趣向を凝らした「感謝デー」も今年度はこれが最後。来年度も、皆様のご来店をお待ちしています。

どしどし満杯!「雪室」準備完了

2月、当JAの雪室施設「零温雪室倉庫」への雪入れ作業が行われました。暖冬だった去年に比べ、今年は雪の量も豊富。村山営農センターの職員がトラックや除雪機を使い、雪をどんどん運び込みました。広さ540平方メートルの貯蔵庫は入口まで雪でいっぱいになりました。



▲トラックで搬入、除雪機で隅々までとばします



▶啓翁桜を筒に入れて雪へ埋めます。プロジェクトの実行委員会は、袖崎雪室研究会と、当JA村山地区の花木生産部・市・県などで構成。

啓翁桜、雪室で出番待ち

2020年東京五輪・パラリンピックを、村山市産の啓翁桜で彩ろうというプロジェクトが進んでいます。2月、村山市袖崎地区の雪室で雪入れが行われ、啓翁桜が雪の中に保存されました。7月に開花するよう調整し、去年に引き続きPRのために活用する予定です。



▲できあがりニコニコ



▲縫って、アイロンをかけて…

2月9日、大石田地区女性部は手芸教室を開きました。作ったのは「キッチンキャップ」。台所仕事で活用できる帽子です。好きな柄の布地を使い、遊び心をこめて耳の形の飾りやリボンをあしらった人も。

お手製キャップで家事を楽しく



▲中には稀少な食材も



▲いただきます!

2月5日、尾花沢地区女性部の尾花沢支部は、恒例の漬物展示会を開きました。31人が出席。漬物にとどまらず、炊き込みご飯やデザートなど約30品が会場に持ち寄られました。出席者は皿いっぱい盛り付けてそれぞれの家庭の味を楽しみました。

腕をふるった 手料理ずりり

あらえのめんごっこ



村山市河島乙
さいとう ひろき
齋藤 央貴 くん(1歳)

浩太さん・美香さんの長男。ハイハイは8ヶ月で覚えて、つかまり立ちも伝い歩きもあっという間にマスターしました。好奇心も旺盛で、おもちゃよりも電話機などの家具にワクワクするみたい。最近は仏壇の“おりん”にはまって、隙を見ては鳴らしています。家族も、どこからともなく「チーン」が聞こえて初めて気づくとか!? 離乳食は一日3回、冬はみかんもどンドン食べて栄養満点。誰が来ても人見知りせずニコニコ見送る央貴くん、玄関先でのバイバイはまだまだ覚えてたてです。

◆お母さんから…
央貴は、思わずさわりたくなるブクブクの赤ちゃん。
夫に育ててママ孝行してね♡

あつまれ!
ふれあい広場

あれこれ ～遊・楽 Time～

私、フラワーアレンジメントが大好きです!

尾花沢市野黒沢
お ぼた
小 幡 まゆみ さん(67歳)

2月、尾花沢地区女性部福原支部はフラワーアレンジメント教室を開きました。支部長の小幡さんの提案で、去年から始めたものです。「ずっと前に生け花をやっていたことがあり、またやりたいな～と思って皆に声をかけました。地元産の啓翁桜も活用しているんですよ」と小幡さん。ご本人をはじめ、教室に参加しているメンバーは、みんなニコニコ笑顔で心を和ませています。花に触れて気持ちも穏やかに…これが“花のある生活”の魅力です。「花を見てごしゃける人はいません。教室後のお茶飲みも楽しみに、今後も続けていきたいです」。



「あつまれ!ふれあい広場」では、皆さんからの写真を募集します。詳しくは15ページをごらん下さい。



▶種もみ引き渡し(23日、大高根地区)



▶農薬を仕分け(28日、西郷地区)

種もみ、農薬の準備が進む

2月、村山経済事業所は、種もみや農薬などを各農家へ配布しました。19日からは、地区ごとの拠点で種もみの引き渡しを実施。訪れた組合員に、事前の申し込み内容に基づいて渡していきました。また26日からは農薬も配達。JA職員による仕分けののち、トラックで農家へ配られていきました。これらの引き渡しと配達は、それぞれ4日間ずつ行われました。



▲説明を聞く「雪若丸」生産者

「雪若丸」その特徴を学ぶ

2月26日、当JA本店で「雪若丸」の栽培講習会が開かれました。村山地区の「雪若丸」生産者70人が出席。講師は、北村山農業技術普及課の今野陽一主任専門普及指導員です。今年、本格デビューを迎える新品種「雪若丸」について、その栽培上の特徴と注意点などを説明しました。

米の消費地の現状を視察

2月16・17日、県内の若手米生産者を対象とした消費地研修が行われました。当JA管内では3地区から一人ずつ参加。(株)神明の関東工場を見学したほか、東京・銀座の



▲アンテナショップで販売品を確認

アンテナショップでは販売促進活動にも加わりました。自分たちの作っている米が、消費地での消費されるかを学びました。

ポカポカ鍋料理で大満足

2月11日、道の駅尾花沢「花笠の里 ねまる」で「冬の鍋まつり」が開かれました。JAみちのく村山尾花沢地区女性部のメンバーが温かい鍋料理を販売。道の駅の山菜部会による、漬物や「そばがき」のふるまいも行われ大勢の人でにぎわいました。



▲「豚汁2杯!」「はいどうぞ!」



▲親子でご来場ありがとうございます

株みちのくサービスからのお知らせ



オートマ車に乗っているあなた！今すぐ走行距離をチェックしてください。もし2万キロ以上走っていたら、ぜひ当社で「健康診断」を受けてください。



その症状、オートマ車のフルードの劣化が原因かもしれません。当社で「オートマ車の健康診断」を受けてみませんか？

フルードを交換すると... 乗り心地がよくなります。 燃費がよくなります。 加速がスムーズになります。

フルードって何？交換しないとどうなるの？ オートマ車のエンジン出力を様々な形で動力として伝える役割を担っているオイルが、「CVTフルード」または「ATフルード」です。

エンジンオイル同様に、オートマ車のフルードも定期的な交換をしなければ劣化が進み故障の原因になります。そのまま放置すると、高額な修理代が必要になることも...？

また、新車購入から5年以上経過するとメーカー保証が終了し、修理費を負担しなければならなくなります。そうなる前に、ぜひ当店の「健康診断」を受診ください。

あなたのマイギャラージ 株式会社みちのくサービス 村山車両センター ☎0237-55-6130 尾花沢車両センター ☎0237-22-0088

旅行センターからのお知らせ



実施期間 平成30年 7月10日(火)~12日(木)

募集人員 350名様(最少催行人員：250名様)

- 食事/朝食2回、昼食3回、夕食2回
■添乗員/同行します。
■募集締切/平成30年6月8日(金)
■申込金/30,000円(旅行代金に充当します)
■旅行代金/125,000円~(税込/大人お一人様2名1室利用/起点：酒田港発着)

多種多様な船内イベント！ たっぷりクルーズでは一日中、船内イベントを開催しております。楽しみ方はお客様次第！

詳しくは旅行センターまで ☎0237-55-6314

JAGREENからののお知らせ

JAGREENおばなざわの3月の営業について

まもなく新店舗がオープンするJAGREENおばなざわ。

3月の予定は以下の通りです。あらかじめお確かめください。

- ◆3月16日(金)~20日(火).....閉店セール
◆3月21日(水)~25日(日).....店舗休業(新店舗の開店準備のため)
◆3月26日(月).....新店舗オープン
※営業日の営業時間は、右の通りです。

「創業祭」売り出しを行います！

3月15日(木)・16日(金)の2日間、JAGREENたておか・ごてん・おおいしだで「創業祭」として大売り出しを行います。皆様のご来店をお待ちしています(詳しくはチラシをごらん下さい)。

営業時間が変わります

3月以降は、以下の体制で営業します。
【期間】 【営業時間】 【定休日】
3月1日(木)~3月14日(水) 8:30~17:30 日曜・祝日
3月15日(木)~3月31日(土) 8:30~18:00 無休(※)
(※3月30日(金)は臨時休業いたします)

果樹剪定枝を無料で引き取ります!!

村山市内の果樹農家の皆様へ

木質資源の有効活用に向け、市・農協・事業者が協力して、果樹剪定枝をチップ化し有効利用を図ります。

下記により果樹剪定枝を無料で引き取りますので、ご協力いただける方は受入場所に持ち込んでください。期間外受入は1kg10円の手数料がかかります。

- ◆無料受入期間 4月9日(月)~4月27日(金)
◆受入時間帯 午前9時~正午/午後1時~4時 *土・日曜日の受入は行いません。
◆受入場所 やまがたグリーンリサイクル(株)(金谷工業団地内) 村山市大字金谷 1224-11 ☎0237-48-6440



○剪定枝の長さ・太さに制限はありません。
○結束する場合は、縄又は麻紐を使用してください。
◆注意事項 次のものは受入できません。お持ち帰りいただくこととなります。

抜根、土・泥の付いた枝、腐敗した枝、葉の付いた枝、庭木の剪定枝、マイカ線・ビニール紐・針金・電線等で結束したもの

剪定枝はチップに加工され、木質バイオマス発電所の燃料など、エネルギー等として有効に利用されます。

村山市・村山営農センター

平成30年5月1日より JAGREENおばなざわ隣の産直所「はいつと」で JAGREENカードでお買い物をすると... 5%割引に!! この機会にぜひご利用ください。

ためるくん (尾花沢支店キャラクター)

支店からのお知らせ

「貯める日」を終了させていただきます。

毎月、26日に実施しておりました「貯める日」の粗品提供を、諸般の事情により平成30年3月の実施をもって最後とさせていただきます。何卒ご了承いただきますよう、よろしくお願いいたします。

今後とも、変わらぬご利用をよろしくお願いいたします。

ためるくん (楯岡支店キャラクター)

『ふれあい』読者のみなさまへ

★写真を募集します！ 赤ちゃん、趣味、ペット、「変わりモノ」... 『ふれあい』に載せてみませんか？

11ページの「あつまれ！ふれあい広場」を、平成30年4月号からリニューアルします。皆さんから送っていただいた写真を掲載しますので、ご希望の方は以下の内容をご確認のうえ、電子メールで気軽にお寄せください。

- 【掲載する写真の種類】 ◆赤ちゃん・乳幼児...0~2歳程度のお子さん。名前も教えて下さい。
◆趣味・特技など.....自慢の趣味、特技、コレクション、作品など。
◆「おらえの変わりモノ」.....ヘンテコな形の野菜や果物。
◆ペット.....かわいいペットの姿。

※いずれも、電子メールに写真を添付してお送り下さい。
電子メール本文に、お送りいただいた方の住所・氏名・写真説明(コメント)も記載して下さい(ペンネーム可)。記載がない場合、掲載を見送らせていただくこともあります。また、紙面の都合で掲載できないこともあります。

【送り先】 fureai@mitinoku.or.jp

電子メールが使えない場合や、ご不明な点などがある場合は、以下までお問い合わせ下さい。

◆JAGREENみちのく村山本店 管理部総合企画課・広報担当 ☎0237-55-6312 FAX0237-55-5825